

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジコンソーシアム

総会（第2回）・評価選定委員会

議 事 要 旨

1. 開催概要

- ・日時 : 令和元年7月18日（木）15:00～17:00
- ・会場 : 平城宮跡歴史公園 平城宮いざない館
- ・出席者 :

東 博暢	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
清川 清	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授
佐藤 健哉	同志社大学 モビリティ研究センター センター長／教授
根本 哲夫	奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 教授
増淵 徹	京都橘大学 文学部 教授／女性歴史文化研究所 所長
加納 陽之助	奈良県 まちづくり推進局 地域デザイン推進課 課長
竹田 博康	奈良県 まちづくり推進局 奈良公園室 室長
梅森 義弘	奈良市 観光経済部 部長
中村 孝	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 公園調整官
松本 浩	国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所 所長
松岡 慎司	奈良県 まちづくり推進局 平城宮跡事業推進室 室長
川原 淳	飛鳥・平城宮跡歴史公園サポート共同体 平城宮跡管理センター 室長（総会のみ出席）
栗坂 史明	平城京 再生プロジェクト（代理出席・総会のみ出席）
濱田 泰栄	文化庁 文化財第二課 課長補佐
林 正憲	奈良文化財研究所 都城発掘調査部 主任研究員
城田 由二	奈良文化財研究所 研究支援推進部 部長
貴村 好隆	奈良文化財研究所 研究支援推進部 連携推進課 課長

2. 議事概要

1) 評価選定について

- ◆（テーマ②：AR等について）奈良文化財研究所のボランティアガイドがVRコンテンツの解説および管理・配信への協力を行うのは困難である。
- ◆（テーマ⑤：その他について）ドローンのプログラミングはそれほど簡単ではない。安全性や歴史的資産への配慮がなされていないのが懸念である。

- ◆ (全体について) 実用化を考えたときに、一部提案は実験時にデータが十分蓄積できるのかという不安がある。
- ◆ (テーマ④：クラウド台帳について) 従来に比べてコストをどれだけ下げられるか定量的に算出できるかが重要である。また、ベンダーロックインの排除も再度周知したい。
- ◆ (全体について) まちづくりへの展開ということを考えると、うまくいくことよりも課題が出てくることのほうが重要だと思うので、さまざまな検討ができればと思う。
- ◆ (全体について) いろいろな提案を多く受け入れるべきだと思うので、こちらが考える懸念点や付帯条件をつけて事業者と協議するという形でもよいのではないか。
⇒全9団体11提案について、一部条件付きで選定することに決定

2) 平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ全体計画(案)について

- ◆ 今回の実験を通して、選定プロセスなど苦労した点などを踏まえたガイドラインを作成してあげると、他の公園にもノウハウを共有できると思う。
- ◆ 報告書をまとめる際にも、皆様からの専門的なご意見を整理していただければと思う。
- ◆ 実験実施事業者が作成するポータルサイト以外に、コンソーシアム側でも情報発信できるHPを持っておくべきだと思う。
- ◆ HPの仕様・掲載内容・基準などを決める体制や、データガバナンスについても、参加者間で事前に決めておくと、後でもめることがないと思う。
- ◆ 将来的には標準化戦略まで検討できればよい。

3) 今後のコンソーシアムの進め方について

- ◆ アカデミアとの連携ということで、学生にも新しいことを行ってもらえればと思うので、大学関係者の方にもご協力いただきたい。

3. 会議風景



以上